

令和5年度 排水設備工事責任技術者共通試験について

東京都下水道サービス株式会社

1 はじめに

排水設備は私有地等に設置され、公共下水道に接続して下水を流入させる重要な施設です。宅地内の下水を排除する機能を十分に発揮させ、公共下水道の機能を維持するため、関係法令に定められた基準に従い、適正に設計、施工されなければなりません（**図 1 参照**）。

そのため、排水設備は一定水準以上の技術を持つ者による施工管理が必要であり、各都道府県の下水道協会等では、そのための資格試験を実施し、合格者に対する排水設備工事責任技術者の登録を行っています。また、資格を取得した排水設備工事責任技術者には、5年毎に更新講習の受講が義務付けられています。

本稿では、令和5年度の排水設備工事責任技術者共通試験に関する弊社の取組

みについて紹介します。

2 試験の動向について

令和５年度の試験は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の５類に移行して以来、初めて行われたものであり、会場では受付での検温等を行わず、手指消毒や咳エチケットの励行、適宜の換気等の基本的な感染防止対策を徹底したうえで、各都道府県において試験が実施されました。しかしながら、今後の感染状況等により国の指針が変更または修正される可能性がありますので、必ず試験の実施機関（各都道府県下水道協会または下水道公社等）の募集案内及び最新の情報を確認のうえ、申込み手続きを行うようにして下さい。

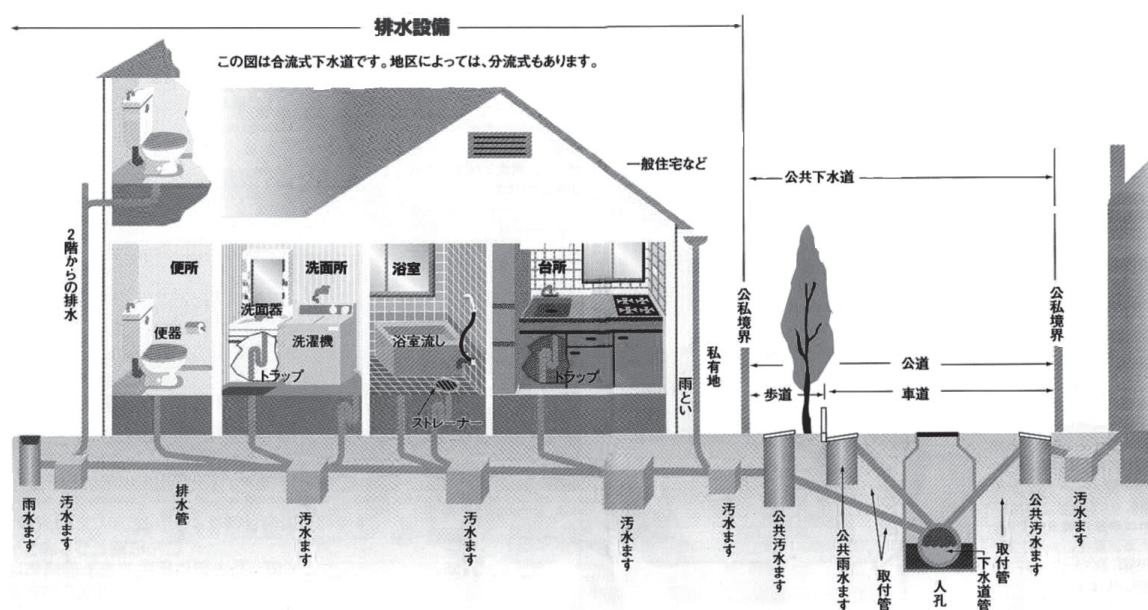


図1 排水設備と公共下水道

表 1 試験問題の形式

試験問題	地域性を排除した全国共通的な内容
出題範囲	下水道法令及び「下水道排水設備指針と解説」の項目
出題設問数	30問
出題方式	択一式、穴埋め式、○×式を組み合わせたもの
解答方式	マークシート方式
満点	100点（法令：30点、技術：70点） ・法令：排水設備に関する関係法令（下水道一般知識含む） ・技術：調査（測量）・設計・施工・計算問題
合格基準	総得点70点以上かつ法令・技術の各区分の得点率が50%以上

各下水道協会のホームページ情報から、ここ数年の合格率は概ね40～50%台となっています。

1) 共通試験問題の概要及び合格基準について

本試験は従来、各市町村単位で行われていましたが、全国的に技術水準の統一化と市町村業務の負担軽減を図るため、平成20年度より23都道府県で日本下水道協会が作成する共通試験問題による試験が始まり、平成30年度からは47都道府県すべてで共通試験問題が導入されています。この試験問題の形式は、公益社団法人日本下水道協会のホームページに掲載されており、合格基準も定められています（表1参照）。この基準では、各分野で満遍なく得点することが求められています。受験される方は、一度確認しておいてください

2) 日本下水道協会が発行する参考図書について

試験に合格するためには、法令の条文や用語を理解しなければなりません。試験問題は下水道法令の改定や、各関係基準の改訂内容に沿って出題されるため、整合を図り改定された「下水道排水設備指針と解説」に合わせてテキスト改訂も行われるので、その都度確認が必要です。また、技術分野では排水管の管底高や汚水ますの深さなどを求める計算問題

が必ず出題されるので、実際に練習問題を解いて計算ができるようにする必要があります。受験対策として、日本下水道協会が作成している以下の冊子を事前に入手し、よく読み込まれることをお勧めします。

- ①「排水設備工事責任技術者講習用テキスト」（平成29年3月発行）
- ②「排水設備工事責任技術者試験標準問題集」（平成29年3月発行）
- ③「下水道排水設備指針と解説」（2016年版改訂）

これらは日本下水道協会のホームページから申込みができます。また、①と②については全管連でも地元組合を通じて会員へのあっせん取扱を行っています。

3 試験対策としての講習会業務等に関する弊社の取組み

1) 地方の下水道協会等が主催する試験準備講習会への講師派遣

各県の下水道協会や管工事組合では、排水設備工事責任技術者の資格取得を支援するための試験準備講習会を開催しているところもあります。弊社では、これらの講習会の講師として経験豊富なベテラン社員を派遣しており、令和5年度は



写真1 真剣に講習を受ける受講者(試験前講習会実施状況 令和5年9月撮影)

1 都9県において、約900名の方々に受講して頂きました(写真1参照)。

2) 弊社が主催する講習会

弊社では、下水道協会や管工事組合等による講習会が主催されない地域においても受験者を支援するため、有料で試験準備講習会を主催する取組みも併せて行っています。令和5年度は1都5県で開催し、約210名の方々に受講して頂きました。こうした試験準備講習会を活用して、効果的に得点力アップを図ることができます。実際、令和5年度における東京都の試験では、都発表の合格率が5割あまりだったのに対し、弊社が都内で行った講習会の受講者ではそれが約7割という結果が得られました。排水設備工事責任技術者を目指している方は、ぜひ受講を検討してみてください。

弊社では、試験準備講習について、受講者と主催者方の皆様方に満足していただけるように、講習内容のアップデート

はもちろん、派遣講師の技法向上のための社内養成研修を行うなど、常に講習の質の向上に取り組んでいます。

特に、弊社が制作した「受験準備講習会用テキスト」は、豊富な講習実績と責任技術者試験の数多くの合格者から集めた試験情報をもとに、受験者の皆様がつまづきやすい「計算問題」を重点的に解説した内容となっています。このテキストも令和5年8月に改訂し、分かりやすくカラー化するとともに、解き方のコツを追加する等、内容を充実させ、受講者の皆さまから好評を得ています。なお、このテキストは一般での販売はしておらず、有料の講習会や以下のeラーニング受講時に配布しています。令和6年度もこれまでと同様に、講師派遣や講習会を開催する予定です。

3) eラーニングによる試験準備講座

弊社では、平成25年度から「下水道排水設備工事責任技術者試験受験準備講

座（eラーニング）」を、有料で開設しています。本講座は、講師の経験やノウハウを基に厳選した演習問題を盛り込むとともに、解答に詳細な解説を加えており、講習会への参加が難しい受験生向けの学習教材として提供しています。eラーニングの特長としては、以下のことが挙げられます。

- ・パソコンやタブレットにより、空き時間に自分のペースで学習出来ます。
- ・繰り返し学習も出来るため、不得意分野の対策に効果的です。
- ・演習問題を中心に学習することで実力がつきます。
- ・模擬試験を受けることで、自分の苦手な分野が分かります。
- ・分かりやすい解説で学習することで、さらに理解が深まります。

（弊社HP eラーニング：<https://www.tgs-elearning.jp/el-hp/> 図2参照）

また令和3年度には、パワーポイントと講師のナレーションによるビデオレッスン4編（心構え、法令、技術、計算）を配信するなど、講座内容をリニューアルしました。新型コロナが5類に移行したとはいえ、未だ感染症への懸念から、講習会への参加に不安を感じている受験生の方もいらっしゃると思います。そのような方にも場所を選ばず学習できることから、本講座はお勧めです。令和5年度には約100名の方々に受講して頂き、「演習や模擬試験の問題構成がよく解説が分かりやすい」、「模擬試験を受けることで苦手な分野が分かった」等のお声を頂いております。受講期間も通常の1年

eラーニングで資格取得！

「下水道排水設備工事責任技術者試験」受験準備講座

○ eラーニングで学ぶメリット

- ・パソコン及びスマートフォンで、帰宅後などの空き時間を利用して自分のペースで学べます。
- ・繰り返し学習も出来るため、不得意分野の対策に効果的です。
- ・演習問題を繰り返し解くことで実力がつきます。
- ・模擬試験を受けることで、自分の得点が変わり、また何回でもチャレンジできます。
- ・充実した解説で勉強することで、さらに理解が深まります。

○ 受講料

一般受講の方	8,000円(10,000円)
全管連会員の方	7,000円(9,000円)
弊社が講師を担当する試験前講習会に申し込まれた方、学生の方	5,000円(7,000円)
お急ぎコースの方(2ヵ月間)	3,000円(5,000円)

※()はテキスト付コースの価格(2022.3時点)です。通常の受講期間は1年間になります。詳細につきましては、ホームページをご確認ください。

○ 講座内容

- ・共通試験の受験心得
- ・法令問題に関すること
- ・技術問題に関すること
- ・計算問題に関すること

様々なパターンの模擬試験！

⇒分野別や短時間模用意しています

さらに役立つ情報をご提供！

⇒受験勉強だけでなく、業務にも役立つ情報をご提供いたします。

レッスンを始める前に

問題集によるレッスン

ビデオによるレッスン

試験に挑戦！

お役立ちコーナー

まず、はじめに... ⇒専門用語や計算問題に関する基礎知識が確認できます。

豊富な演習問題！ ⇒選択肢の順番が毎回入れ替わるので、常に新鮮な気持ちで取り組めます。

講師によるビデオレッスン！ ⇒受験勉強の重要なポイントを、講師がわかりやすく解説しています。

お問い合わせ先

東京都下水道サービス株式会社 管務部土木技術課土木技術管理担当
〒120-0004 東京都千代田区大手町2-4-3 TEL: 03-3241-0074 e-mail: tgs-elearning@tgs-sw.co.jp

eラーニング「体験版」&申込みのご案内

1

東京都下水道サービス株式会社のホームページにアクセスし、「eラーニングのご案内」をクリックしてください

2

eラーニングのトップページから

3

「体験版」はこちらをクリックしてお試しください

4

「資料請求・申込み」をクリックしてお申込みください

<https://www.tgs-sw.co.jp/>

1

2

3

「体験版」はこちらから

4

資料請求・お申込みはこちらから

TGS eラーニング

検索

図2 eラーニング案内

— 4 —

2024.2 ●全管連ジャーナル

全管連ジャーナル●2024.2

コースに加え、本試験前に集中して勉強できる2か月間の「お急ぎコース」も用意していますので、興味を持たれた方は、体験版でのお試しや資料請求をしていただき、受験準備のツールとしてご活用ください。

弊社では、公共下水道の維持管理等の業務を行う社員が自己研鑽のため、共通試験を受験しており、社内で勉強会を開催し、受験者のサポートを行っています。多くの受験者は、テキストの読み込みなど試験準備を最低6か月前から始めているようです。本番2か月前の勉強会への参加後は、講習会テキストとeラーニングで繰り返し勉強し、今年度は受験者全員が試験に合格しました。皆様の受験への取組みの参考にして頂ければ幸いです。

4) 講習会情報

令和3年度から弊社ホームページに「排水設備工事責任技術者」総合ページを開設し、利用者サービスの向上を図っています。以下のような試験及び講習に関する情報をまとめているので、一度アクセスしてみてください。

- ・関係法令や本試験の各都道府県における実施機関など、これから資格を取得する方、すでに資格をお持ちの方に役立つ情報を掲載しています。
- ・弊社自主事業の講習会や、eラーニング受験準備講座にオンラインでお申し込みができます。
- ・関係機関（日本下水道協会、全国管工事業協同組合連合会等）へのリンクを載せています。

（弊社HP「排水設備工事責任技術者」
総合ページ：[https://www.tgs-](https://www.tgs-sw.co.jp/haisui-engineer/)

[sw.co.jp/haisui-engineer/](https://www.tgs-sw.co.jp/haisui-engineer/)）

4 受験される皆さんへ

弊社における排水設備工事責任技術者講習会業務の受講者は、累計22万人を超えています。近年では、各都道府県下水道協会や受験生のニーズに応え、技術者育成をお手伝いするため、試験準備講習会や責任技術者更新講習会の業務拡大に力を入れています。また、令和3年度より手続きのデジタル化の一環として、入力フォームを活用したオンラインによる申し込みを開始しました。

全国の汚水処理人口普及率は92.9%（令和4年度末）まで高まっていますが、建て替えや老朽化による設備改築など、排水設備工事は今後ともニーズがある仕事です。これからも排水設備工事に従事する、より多くの技術者がこの試験にチャレンジし、合格された皆さんが質の高い排水設備工事を行える責任技術者として活躍されることを期待しております。

弊社では、引き続き排水設備工事責任技術者の講習会業務等を幅広く行うとともに、これまでの経験やノウハウを活かして、全国の排水設備工事責任技術者の技術力向上、各自治体担当機関の負担軽減に貢献するために最善を尽くすとともに、試験の合格率アップにつながる講義内容の質の向上に向けて研鑽を重ねていく所存です。

全管連の会員の皆様方には、受験準備講習会への参加はもちろん、下水道全般の疑問等についてもご遠慮なくお問合せ頂ければ幸いです。

（東京都下水道サービス株式会社管路部
土木技術課 Tel.03-3241-0074）